

平成 年 月 日

## 貯水槽清掃報告書

依頼者

殿

所在地

登録番号

東京都56貯第4 120号

名称

株式会社山美興産

代表者

代表取締役 山口 忠彦

所在地

東京都町田市木曾東3-8-26

電話番号

042-727-2171

FAX

042-727-2172

建 物 名 称 _____ 主 たる 用 途 _____ 付 随 用 途 _____ 所 在 地 _____					
作 業 日 時 自 平 成 年 月 日 ( 曜 ) 時 (天 候 ) 至 平 成 年 月 日 ( 曜 ) 時 (天 候 )					
断 水 時 間 月 日 時 分 ~ 月 日 時 分					
清 掃 作 業 工 程 —受 水 槽—  始 ( : ) ( : ) ( : ) ( : ) ( : ) ( : ) ( : ) 終 ( : )					
作業前準備	排 水	清 掃	消 毒	水 張	点 検 整 備
清 掃 作 業 工 程 —高 置 水 槽—  始 ( : ) ( : ) ( : ) ( : ) ( : ) ( : ) ( : ) 終 ( : )					
作業前準備	排 水	清 掃	消 毒	水 張	点 検 整 備
作 業 者	清 掃 作 業 監 督 者 名	柿 崎 瑠 美 子		貯 水 槽 清 掃 作 業 監 督 者 貯 再 第 4 5 0 0 4 号	
	補 助 者 名				
依 頼 人				(オ ー ナ ー 側)	
立 会 人				(メ ン テ ナ ンス 側)	
所 見					

受 水 槽 点 検 表						
受 水 槽	容 量	材 質	構 造		設 置 場 所	
( )	m3					
( )	m3					
構 造 等	点 検 項 目		判 定 ( ) ( )		状 況	
	点検・清掃が容易で衛生的な場所					
	排水槽などの影響					
	適 正 な 容 量					
	連通管の位置、受水口と揚水口の位置					
	マンホールの数・位置・大きさ 立ち上げ・防水・施錠など					
	上部配管スリーブ(揚水管貫通部) の密閉・立ち上げ					
	吐水口空間・排水口空間の確保					
	オーバーフロー管・通気管の防虫網					
	外部から汚染されるような開口部					
	槽内及び槽直上部に給水以外の配管 クロスコネクション(他の 配管設備との連結)					
	維 持 管 理	槽周辺部に槽内の水質を汚染させる ような物はないか				
		ポンプ室等の清掃・整備				
槽内に錆・沈渣・油・異物・浮遊物 キレツ・塗装はがれ						
内部ステー(支柱)の状況						
電極棒・フロートスイッチの状況						
満減水警報装置の作動状況						
給水ポンプの状況(整備状態性能)						
ボールタップの状況						
フード弁・サクシオンパイプの状況						
槽内梯子の発錆・水垢・腐食の状況						

高置水槽点検表					
高置水槽	容量	材質	構造	設置場所	
( )	m3				
( )	m3				
構造等	点検項目		判定 ( ) ( )		状況
	点検・清掃が容易で衛生的な場所				
	適正な容量				
	マンホールの位置・大きさ 立ち上げ・防水・施錠など				
	外部から汚染されるような開口部				
	オーバーブロー管・通気管の防虫網				
	吐水口空間・排水口空間の確保				
	クロスコネクション（他の配管設備との連結）				
	槽周辺部に槽内の水質を汚染させる物は置いてないか				
	槽内に錆・沈査・油・異物・浮遊物 キレツ・水垢・塗装等				
	内部ステー（支柱）の状況				
	電極棒・フロートスイッチの状況				
	満減水警報装置の作動状況				
ボールタップの状況					
槽内梯子の発錆・水垢・腐食の状況					

副受水槽点検表		
副受水槽	( )	( )
容量	m3	m3
材料		
構造		
設置場所		
状況		

そ の 他 の 設 備				
圧力ポンプ	メーカー		形式	
	揚程		台数	
	揚水量		口径	
給水管	材質		状況	
	口径			
防錆剤の使用	無	薬剤名	使用方法	
塩素滅菌装置	無	薬剤名	装置メーカー	
作 業 等				
槽 内 消 毒	薬 剤 名	次亜塩素酸ナトリウム (成分 NaClO 6 %溶液)		
	希 釈 方 法	6 × 600倍 最終濃度 100 PPM		
	放 置 時 間	受 水 槽 ( )	放 置 時 間	高 置 水 槽 ( )
	1回目	時 分 から	1回目	時 分 から
		30分間放置		30分間放置
	2回目	時 分 から	2回目	時 分 から
		30分間放置		30分間放置
	3回目	時 分 から	3回目	時 分 から
		30分間放置		30分間放置
		( )		( )
	1回目	時 分 から	1回目	時 分 から
		30分間放置		30分間放置
	2回目	時 分 から	2回目	時 分 から
		30分間放置		30分間放置
	3回目	時 分 から	3回目	時 分 から
30分間放置		30分間放置		
塗 装	塗 料		乾燥時間	
	場 所			
防 水	方 法			
	場 所			
修 理 及 び 部 品 交 換	箇 所	原 因	処 置	

簡易水質検査 (現場実施)								
試験項目	測定場所等	基準	受水槽		高置水槽		給水栓末端	
			( )	( )	( )	( )	( )	( )
清掃前	遊離残留塩素	0.1 P P m 以上						
	※結合残留塩素	0.4 P P m 以上						
	色	5 度 以 下	1度未満		1度未満		1度未満	
	濁り	2 度 以 下	1度未満		1度未満		1度未満	
	臭い	異常でないこと	異常なし		異常なし		異常なし	
	味	異常でないこと	異常なし		異常なし		異常なし	
清掃後	遊離残留塩素	0.1 P P m 以上						
	※結合残留塩素	0.4 P P m 以上						
	色	5 度 以 下	1度未満		1度未満		1度未満	
	濁り	2 度 以 下	1度未満		1度未満		1度未満	
	臭い	異常でないこと	異常なし		異常なし		異常なし	
	味	異常でないこと	異常なし		異常なし		異常なし	
検査方法		DPD法						
		色濁度計						
検査実施者								

※ただし、遊離残留塩素濃度が、清掃前0.1PPm未満の時、清掃後0.2PPmの時実施する。

水質検査 (発注先より別途依頼があった場合)	
採水年月日	平成 年 月 日 ( 曜日 )
採水場所	
検査項目	全項目 一般項目 その他 ( )
検査結果	別添水質検査結果書のとおり

特記事項